

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	大和ハウス工業株式会社	事業所名	イール妻沼				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	公共交通機関の利用促進	毎月の店長会に啓蒙活動実施			○	○	○
(01)	公共交通機関利用の啓発						
01	公共交通機関の利用促進	最寄りバス停あり(徒歩1分)			○	○	○
(03)	最寄り駅等からの送迎バスの運行やバス停の設置						
01	公共交通機関の利用促進	店舗がイベントとして実施(自転車でお越しになった方には50円引き券の渡し)			○	○	○
(04)	その他公共交通機関の利用を促進するための取組						
02	自転車の利用促進	敷地内に駐輪場用3ヶ所整備し、巡回管理を行い来場者数に対して十分な台数確保を行っています。			○	○	○
(01)	十分な広さの駐輪場の設置・維持管理						
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進	設置に向けてイーモビリティと調整中。			-	○	○
(03)	電気自動車用充電器等の整備						
04	来場者に対するアイドルング・ストップを含むエコドライブの啓発	掲示物にて告知啓蒙			○	○	○
()							

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	混雑予想される週末に入出館誘導の交通整理員を配置しております。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (04) その他渋滞防止策	近隣に看板を設置し方向及び誘導をしております。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	各店舗で展開。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (03) 宅配サービスに伴う二酸化炭素削減の取組	店舗にて展開。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大和ハウス工業株式会社	事業所名	埼玉支社				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	環境マネジメントシステム(ISO14001)に基づき、一年に一度、特定荷主事業者として、物流にかかったCO2を算出し、削減できていない場合は課題を特定し、改善計画に追加している。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	大和ハウスグループの大和物流および若松梱包運輸倉庫には、期初にその年の環境改善計画書を提出してもらい、定期的にミーティングを行い、情報を共有している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認</p>	<p>特定輸送事業所である大和物流から、毎年、埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく、自動車地球温暖化対策計画書、結果および改善計画書等提出するように依頼し、確認している。</p>	○	○	○
<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定</p> <p>(02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認</p>	<p>環境マネジメントシステム(ISO14001)を認証取得している大和ハウス工業のグループ会社(大和物流㈱、以下大和物流)に輸送を委託している。</p>	○	○	○
<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化</p> <p>()</p>	<p>建設現場で使用する建築部材について、輸送による距離を削減するため、現場に近い工場で主要部品を製作する施策を実施</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>大和ハウス工業の工場にして標準化を実施している。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>1台のトラックで多くの現場に配達できるように手配し、混載取組みを推進している。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>4トン車での運送を前提に輸送便を手配している。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>工場から建設現場への配送計画を立てることをルール化している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	物流倉庫において、IT技術を活用し、トラックの入場予約システム・オンラインチェックインシステムを順次導入。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	エコタイヤ、ミックスタイヤの導入を実施している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	ドライバーに対し、エコドライブに関する講習会や環境教育を実施している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	グループ会社の大和物流および若松梱包運輸倉庫に対し、燃費or売上高あたりの走行距離の目標設定を依頼し、目標達成に向けた計画書および報告書を提出してもらっている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	荷主に対して、荷捌き所、駐停車場所の確保、またアイドリング防止の取組みをしている。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	若松梱包運輸倉庫では、複数の業態(メーカー・外食デポ)・複数の温度帯の商品を若松梱包運輸倉庫共配物流基地が集約、複数の卸店業態(卸・量販店・外食店など)に配送している	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	クラウドを統合した物流情報プラットフォーム「MOVO(ムーボ)」を提供する株式会社Hacobuと業務提携して、物流の最適化を推進	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	大和ハウス工業株式会社	事業所名	埼玉支社				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
04	その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (04) テレワーク制度の導入	テレワーク制度導入済。			○	○	○
05	エコドライブの推進 ----- (01) エコドライブの啓発	「安全運転講習」や「安全運転だより」による啓蒙の他、エコドライブ実施の結果が賞与に反映される制度の運用を実施している。			○	○	○
05	エコドライブの推進 ----- (02) エコドライブ研修の実施	「安全運転講習」を活用して、エコドライブの啓蒙を実施。			○	○	○
06	従業員の通勤車両に関する低燃費車利用促進 ----- (01) 低燃費車の購入支援等	低燃費車両の購入時、グループ会社(車両リースやローン)した者に対し、補助金を支給する制度を設けている。			○	○	○
06	従業員の通勤車両に関する低燃費車利用促進 ----- (02) 低燃費車利用者への優遇策	毎月付与する、自家用自動車の手当について、燃費26キロ以上の車両を利用しているものは1万円増額としている。			○	○	○
07	時差通勤の実施 ----- ()	フレックスタイム制を導入している。			○	○	○